

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月30日

上場会社名 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 上場取引所

コード番号 4828 URL http://www.to-be.co.jp

代 表 者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大澤 正典

問合せ先責任者 専務取締役 業務管理本部長 (氏名) 片山 博 (役職名) (TEL) 03-3510-1600

平成27年8月10日 配当支払開始予定日 四半期報告書提出予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年6月30日)

(1) 連結経堂成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

(1) 医帕拉日%膜(采用)						x_{1}	91111111111	<u> </u>
	売上高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2, 583	△15.0	60	37. 4	62	43. 3	35	44. 5
27年3月期第1四半期	3, 040	13. 3	43	_	43	_	24	_
(注) 与红毛 20年 2 日 世	선 4 m 1/ #0	25エ	- / // E	0// 07年	2日世年1m	717 #10	01 	0()

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 35百万円(44.5%) 27年3月期第1四半期 24百万円(—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円銭
28年3月期第1四半期	5. 89	_
27年3月期第1四半期	4. 07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	5, 593	3, 094	55. 3
27年3月期	5, 839	3, 101	53. 1
(名字) 白コ次士 20年2日	世体 1 四 上 世 2 00/	去	2 日 h 2 101 云 T 田

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,094百万円 3,101百万円 27年3月期

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
27年3月期	_	7. 00	_	7. 00	14. 00			
28年3月期	_							
28年3月期(予想)		7. 00		7. 00	14. 00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利	益	経常利	益	親会社株主 する当期約	に帰属 神利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	5, 800	△2. 2	160	7. 5	160	9.0	80	21.6	13. 33
通期	12, 300	0.5	420	11. 5	420	12. 9	220	9.6	36. 67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) 、除外 —社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	6, 000, 000株	27年3月期	6, 000, 000株
28年3月期1Q	524株	27年3月期	524株
28年3月期1Q	5, 999, 476株	27年3月期1Q	5, 999, 485株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると 判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は 様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページの 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報
(1)経営成績に関する説明
(2) 財政状態に関する説明
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が改善するなかで底堅く推移する個人消費等により、景気は緩やかな回復が続いています。

情報サービス産業におきましては、情報化投資全体としては堅調に推移することが期待されますが、顧客の情報化投資姿勢は必ずしも一様ではなく、当社グループの事業環境には引き続き注視が必要です。

このような状況のもと、当社グループは、コンサルティングサービス、ソフトウェア製品、システム構築、運用・保守サービス、クラウドサービス等、顧客の経営課題解決に貢献する付加価値の高いソリューションの提供に努めました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高3,017百万円(前年同四半期比10.4%増)、売上高2,583百万円(前年同四半期比15.0%減)となりました。利益面につきましては、営業利益60百万円(前年同四半期比37.4%増)、経常利益62百万円(前年同四半期比43.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は35百万円(前年同四半期比44.5%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①ソリューション事業

他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築につきましては、顧客のグローバル展開支援や情報の可視化を図る複合型ソリューションの提供を推進いたしました。また、ライセンサーとの連携を通じ、顧客のグローバル展開を支援するソリューションの提供力強化にも取り組みました。当セグメントの受注高は1,875百万円(前年同四半期比12.4%増)、売上高は1,546百万円(前年同四半期比15.8%減)となりました。

②プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「MCFrame」および「A.S.I.A.」につきましては、引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図り、ライセンス販売に注力いたしました。また、製品情報管理システムの提供を開始し、製品ラインナップの拡充を図りました。当セグメントの受注高は1,085百万円(前年同四半期比9.3%増)、売上高は967百万円(前年同四半期比13.6%減)となりました。ライセンス売上高は414百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。

③システムサポート事業

東洋ビジネスシステムサービス株式会社が展開する運用・保守等のシステムサポート事業につきましては、引き続きシステムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は56百万円(前年同四半期比20.5%減)、売上高は70百万円(前年同四半期比17.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産につきましては、仕掛品の増加、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して233百万円減少し、3,769百万円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間末の総資産に占める流動資産の比率は67.4%であります。

また、固定資産につきましては、有形固定資産及び無形固定資産の減価償却額が有形固定資産及び無形固定資産の取得を上回ったことにより、前連結会計年度末と比較して12百万円減少し、1,823百万円となりました。

これらの結果、資産の部の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比較して246百万円減少し、5,593百万円となりました。

(負債の部)

負債の部の当第1四半期連結会計期間末残高は、前受金の増加、賞与引当金の減少、短期借入金の減少等により、前連結会計年度末と比較して239百万円減少し、2,498百万円となりました。

(純資産の部)

純資産の部の当第1四半期連結会計期間末残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる 増加、剰余金の配当による減少により、前連結会計年度末と比較して6百万円減少し、3,094百万円となりました。 以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して2.2ポイント増加し 55.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は平成27年5月11日公表の予想値より変更ありません。

なお、当社グループの業績特性としましては、受注案件の納期が各四半期末に集中する傾向があり、特に第2および第4四半期末にはこの傾向が一層顕著となります。このため、各四半期毎に業績は変動し、特に第2および第4四半期に大きく変動します。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
- (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計 適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

資産の部流動資産625, 336現金及び預金625, 336受取手形及び売掛金2, 410, 760仕掛品311, 820その他655, 600流動資産合計4,003, 518固定資産155, 726	第1四半期連結会計期間(平成27年6月30日)
流動資産現金及び預金625, 336受取手形及び売掛金2, 410, 760仕掛品311, 820その他655, 600流動資産合計4,003, 518固定資産	
現金及び預金625,336受取手形及び売掛金2,410,760仕掛品311,820その他655,600流動資産合計4,003,518固定資産	
受取手形及び売掛金2,410,760仕掛品311,820その他655,600流動資産合計4,003,518固定資産	
仕掛品311,820その他655,600流動資産合計4,003,518固定資産	662, 831
その他655,600流動資産合計4,003,518固定資産	1, 848, 838
流動資産合計 4,003,518 固定資産	597, 651
固定資産	660, 257
	3, 769, 579
有形固定資産 155,726	
	150, 132
無形固定資産	
ソフトウエア 1,127,904	1, 121, 468
その他 91	75
無形固定資産合計 1,127,996 1,127,996	1, 121, 544
その他 557,891	557, 600
貸倒引当金 △5,499	△5, 499
投資その他の資産合計 552,391	552, 100
固定資産合計 1,836,115	1, 823, 776
資産合計 5,839,633	5, 593, 355
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金 286,281	260, 900
短期借入金 500,000	300, 000
未払法人税等 15,492	35, 740
前受金 593,539	836, 272
賞与引当金 496,688	204, 991
品質保証引当金 12,223	11, 766
受注損失引当金 69,414	69, 265
その他 764,724	779, 828
流動負債合計 2,738,363	2, 498, 764
負債合計 2,738,363	2, 498, 764
純資産の部	
株主資本	
資本金 697,600	697, 600
資本剰余金 426,200	426, 200
利益剰余金 1,977,695	1, 971, 016
自己株式 △225	△225
株主資本合計 3,101,270	3, 094, 590
純資産合計 3,101,270	3, 094, 590
負債純資産合計 5,839,633	5, 593, 355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	3, 040, 286	2, 583, 691
売上原価	2, 173, 800	1, 740, 748
売上総利益	866, 486	842, 943
販売費及び一般管理費	822, 519	782, 552
営業利益	43, 967	60, 390
営業外収益		
受取配当金	-	1, 993
為替差益	-	96
その他	1	2
営業外収益合計	1	2, 092
営業外費用		
支払利息	651	454
その他	35	_
営業外費用合計	686	454
経常利益	43, 281	62, 028
特別損失		
投資有価証券評価損	-	166
固定資産除却損	64	_
特別損失合計	64	166
税金等調整前四半期純利益	43, 216	61, 862
法人税等	18, 772	26, 545
四半期純利益	24, 444	35, 316
親会社株主に帰属する四半期純利益	24, 444	35, 316

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

		(単位:千円)_
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	24, 444	35, 316
四半期包括利益	24, 444	35, 316
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24, 444	35, 316
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。